

やくそく “ほかりけんじ”のお約束

～市民・県民の安心・安全と幸せを求めて～

◆7期、28年の県議経験!

皆様からの温かいご支援を受け、7期、28年の県議経験を重ねることによって、この28年間で幅広い人脈を築くことができました。まさに、この人脈こそが、国、県、市町村の連携を進めるための政治力であります。

この政治力の強さは国の予算化に直結し、県や市町村の発展に結びつくものと考えています。

私は、政治力というものは、市民の



幸せ、安心・安全を守るために行使すべきもので、まさに、市民のニーズに応える政治、これが「まちづくり」を進めることであると考えています。

これからも、皆様のご支援をいただきながら、国、花角県知事、田中市長と連携し、新潟県と阿賀野市の発展のために、全力を尽くす覚悟でがんばることをお約束いたします。

ほ
か
り
け
ん
じ

後援会報

〒959-2221 新潟県阿賀野市保田737番地
TEL (0250) 68-5441
FAX(0250) 68-5515
<http://www.hokaken.jp/>

あらゆる世代が将来に希望をもち、安心して安全に暮らせる新潟県と阿賀野市をつくる。

阿賀野市が抱える主要課題への施策提言

将来活力

「将来にわたって活力ある新潟県と阿賀野市をつくる」

農・工・商業活性化
新産業育成
少子化対策
地域ブランド向上



農・工・商あらゆる産業を元気にします。また将来世代の雇用確保と税収増のために新しい産業を育てます。

新潟県としてできる少子化対策(就労支援や子育て支援ほか)に積極的に取り組みます。



歴史と自然が共生する阿賀野市。自然・温泉・瓢湖などの資源を「地域のシンボル」とするため、周辺整備や広告宣伝などを積極的に行っていきます。



安心安全

「あらゆる世代の安心安全」

医療・介護・福祉の充実
地域防災力向上

医療や介護・福祉の充実をはかり、お年寄りが安心して生活できるまちづくりを進めます。

地域防災力の向上、防災行政無線の個別受信機配置、支援物資供給体制整備など、ハード(設備)とソフ



ト(運用)を組み合わせた防災体制の整備を進めます。



学力向上

「しっかり勉強」

新潟県・阿賀野市に住めば
成績が上がるを目指して

資源の乏しい我が国において、人材こそが資源であり、かけがえのない財産です。

新潟県・阿賀野市、そして日本の発展のために、未来を担う子どもたちの基礎学力を向上させる教育を考えています。

県立阿賀野高校を存続さ



せるとともに、魅力と活力ある学校づくりを支援します。



以上が、今、私が考えている政策の骨子(大まかな政策)です。

次に、この政策を実際にどのように行うか(施策)を提言させていただきます。

まず、第1に、阿賀野市の喫緊の課題である、**人口減少問題**であります。今、市では自然減と社会減のダブルで人口減少が進んでいます。

この対策として、市の基幹産業である、農業、商工業、観光を元気にすることが肝要であります。また、市の重要な産業である建設業の活力も必要です。



建設業には、大工さんや左官さんも含まれ、とても裾野の広い産業です。地元の経済に与える影響も大きく、雇用の受け皿にもなっています。

第2に、阿賀野市に誰もが住んでみたいまちづくりです。

ハード面では、まず、市民の皆さん安心・安全を守るために災害対策の実行です。阿賀野市も過去に大災害を経験し、多くの方が犠牲になっています。



現在、安野川の改修事業を進めていますが、大通川と共に、花角県知事、田中市長と

市民の皆様からのご意見などを待ちしております!

以上、私の政策について、ご提言させていただきました。

我が国が人口減少など、成熟した社会が抱える構造的な課題に直面している中で、新たな成長に向けた方向性を十分に検討していかなければなりません。

ぜひとも、皆様からの忌憚のないご意見などを寄せ下さるようお願い申し上げます。

基盤整備

「新潟県・阿賀野市のまちの土台をつくる」

阿賀野バイパスの開通促進と磐越道の4車線化



阿賀野バイパス(H33年完成予定)の整備促進や土地区画整理事業(ほ場整備事業)のスピードアップをはかります。

交通利便性のより一層の向上のために、阿賀野バイパスの早期開通を確実に実現させるための働きかけをします。

磐越道の4車線化が進めば、国道49号阿賀野バイパスの完成時には、交通



量が分散され、渋滞がなくなります。

阿賀野市から新潟市への通勤利便性が飛躍的に向上するため、新潟市内から安価な住宅地を求め、人が流入し人口増につながります。

連携して早期完成を目指し、私の持っている政治力を大いに發揮してまいります。ソフト面では、子育てと教育環境の整備を進め、高齢社会に対応すべく、医療、介護、福祉の充実に全力を尽くします。

第3に、農業です。今、コメの消費が減少し、余剰米が問題になっています。県産米の代表であるコシヒカリ以外に、新之助が登場しました。

更に、飼料米や業務用米の生産が伸びるなど品種や価格の選択幅が広がっています。

花角県知事もトップセールスでコメの販路拡大に努めています。これからの農業は、消費者ニーズに応えることが必要であり、水田の基盤整備(用排水等)をトータル的に進めていかなければな

りません。花角県知事の力で中国が昨年の12月28日に、県産米の輸入再開を発表しました。農家にとって大きな追い風となることと期待しています。



また、コメの他に園芸にも力を注がなければなりません。このことにより、水田フル活用を図り、稼げる農業を目指します。

農業分野においても、国、花角県知事、田中市長と連携し、全力を尽くす覚悟でがんばります。

SNS
はじめました

f 今後の活動予定や活動内容を紹介
@hokaken1948

LINE 友達登録をして、活動内容をチェック!!
@kpr7328v

Twitter 1日の活動内容や動画配信などを紹介
@hokarikenji1213

